



豊かな自然・
かがやく文化
大好き阿賀町

～「阿賀町15年教育」で未来の創り手を育む～

阿賀町学習指導センターだより

令和3年9月28日（火）№15

学校訪問 2 上川小 熊倉 祐之 先生

1年生 算数 単元名「数え名人になろう ～10より大きい数～」、本時は7時間計画の2時間目です。ねらいは、「ある数のまとまりをつかって数えることのよさを知り、数えることができる」です。



ここを学びたい！ ～教師のふるまい～

子どもたちの学びを温かいまなざしで見守りながら、授業を行う熊倉先生の姿がとても印象的でした。

一つ目。子どもたちの学習の様子をよく見ていらっやいます。困っている様子を見逃すことがありません。すかさず、寄り添い、子どもの目線に降りて、丁寧で柔らかい言葉をかけ、支援し、子どもの困り感を解消されていらっやいました。

二つ目。子どもたちのつぶやき、発言に傾聴されていることです。その上で、称賛したり、問い返したりする熊倉先生のふるまいは、子どもたちが主体的に学習に取り組む姿をつくりだしていました。

授業で、教師はどうあればよいか、多くのことを学ぶことができました。



※ 指導案は、共有ドライブ➡教育委員会➡学習指導センター➡学校訪問指導案フォルダにありますので、ぜひ、ご覧ください。

ここを学びたい！～少し難易度の高い課題の設定～

授業は、まず、基本の問題で、「2とび」「5とび」などの数え方を確認、数え方の効率性を獲得させます。次に、その方略をもって、少し難易度の高い課題へ挑戦させるというものです。



写真(左)を提示し、「何個あるかわからないから、教えてください。」と働きかけます。

ミニトマトの数の多さに、「何個あるんだ～」「難しいな。」と、子どもたちが声を上げました。提示された「ミニトマト」を食い入るように見つめ、数えようとする子ども(写真上から2枚目)も見られました。



子どもたちに「少し難易度の高い課題」へ取り組ませることは、子どもたちの解決に向けた思考を活発にします。併せて、非認知スキル「やりぬく力」を高めることにもなります。(主体的に学習に取り組む態度の育成ですね。)

ここを学びたい！～指導の個別化～

少し難易度の高い課題に抵抗感をもち、解決が進まない子ども。その子を見逃さず、熊倉先生は、すかさず、「整列(5×6)しているミニトマト」のシートをその子のタブレットへ配信しました。

そうしたところ、基本の問題で身に付けた「2とび」の方法で、すいすいと数えることができました。そして、最後には、「10のまとまり」を作り、数えることができていました。

少し難易度の高い課題に挑戦させる一方で、一人一人の学びを把握し、つまづきを予想して教材を準備し、対応するといった指導の構えは素晴らしいと思いました。

ここを学びたい！～タブレット活用～

入学して5か月目を迎えた1年生。上手にタブレットを使い、学習に取り組んでいました。熊倉先生の指導の一端がうかがえました。

授業始まりにも、ドリルアプリを活用し、タブレット端末の使い方に慣れる場をつくっていらっしゃいました。

※ 各校では、全国学力・学習状況調査の結果の分析、それを踏まえた対策を検討、全職員で共有されて、取り組んでいらっしゃると思います。今後、各校の学力向上対策についても情報提供して参ります。

発行 阿賀町学習指導センター

〒 959-4392 東蒲原郡阿賀町鹿瀬 8931 番地1

☎ 0254-92-3337(直通) ☎ 0254-92-2116

E-mail kohiyama_hyk4042@town.aga.lg.jp

kyoiku3@town.aga.ed.jp



町の鳥 ウグイス